



運動会後から活動や遊びの中で鉄棒やうんてい、ブランコ等の遊具や縄跳びを使用する機会を多く作りました。その中でも、ふじ組の子どもたちが最近興味を持ち初めたのが縄跳びです。初めて行った日は、上手く回すことができなかった子どもたち。しかし、自由遊びの際に「縄跳びをやりたい!」と子どもたちから訴え、何度も自分で練習していました。練習を重ねるごとに縄を回すことが出来るようになり、ゆっくり跳ぶことも出来るようになり、また「できない」という気持ちから、「やってみよう」「頑張ろう」という気持ちへ日に日に変化していった子どもたちです。何事も最初から上手でできる子はいません。何度も失敗することで、次はどうすればよいのかを考えたり、前向きに取り組むことでチャレンジ精神が養えます。保護者の方も上手く出来ずに悩む子どもを見て、不安になる方もいらっしゃるかと思います。子どもが悩んだり挑戦している際は全てやってあげるのではなく、「失敗しても大丈夫」「きっとできるよ」と励ましたり、どうしたら成功するのか一緒に考える等して見守っていただきたいと思います。

